

# 平成25年度 燕市・西蒲 総合学習部 活動報告

部長 武藤真理子

## 1 研究主題

地域に根ざした単元づくりの在り方

## 2 研究の概要

### (1) 講演会 (第1回部会)

①日時・会場 平成25年6月5日(水) 15:15～16:40 燕市長善館史料館

②講師 長善館史料館 館長 吉田 勝様

### (2) 授業研究 (第2回部会)

①日時・会場 平成25年12月4日(水) 14:00～16:40 吉田南小学校

②授業者 吉田南小学校 大石 みどり教諭

③指導者 粟生津小学校長 武藤真理子

## 3 研究の実際

### (1) 講演会・実践報告 (第1回部会)

①演題 「長善館と育った人々」

②内容

現在燕市内の全幼・保・小・中学校で取り組んでいる「長善タイム」の語源でもある「長善館」について御講話をいただいた。創始者の鈴木文臺先生が「思いやりの心をもった人材の育成」という熱い願いをもって長善館を創り上げたこと、その後世のため人のために尽力した多くの偉人を輩出したことなどを学んだ。

③資料を基にして、各校の具体的な実践報告を行った。

### (2) 授業研究 (第2回部会)

①単元名「なかよしの輪を広げよう」(第3学年)

②本時の目標

体験活動と交流活動から、自分が学んだことや伝えたいことを文章化してまとめることができる。

③協議・指導の概要



ア①本時はICT機器の活用が有効であった。発表に必要な写真をたくさんの写真の中から探し出すのに電子黒板が役立っていた。

②ポスターにより伝えたい思いをもって話し合いにのぞんだが、話し合いが盛り上がらなかったのは何故かについて協議した。自分の体験を、伝えたい思いとつなげるのが難しかった。

イ発信するために大切なことをしっかりとおさえさせたい。

活動を通して学んだことを発信する際、「ねがい」をもたせることが大切である。そして、その「ねがい」が伝わるような発表にするためにどうしたらよいかを考えさせることが重要である。体験したことをただポスターとするのではなく、「誰に何を伝えたいのか」「何のために伝えるのか」「伝えた相手にどういう思いをもってもらいたいのか」などをおさえ、ポスターに表すことができれば素晴らしい。

### (3) 成果と課題

- ・地域素材を生かした単元づくりを進めていくために、講師として長善館史料館館長の吉田勝様から、地域の誇る幕末の私塾「長善館」の教育の特徴などを御講話いただいた。会員の勤務校の周りに存在する地域の素材の教材化について多くの示唆をいただく研修ができたと感じている。今後も講演会と授業研究の2つの研修の充実を図っていきたいと考えている。